

事例 2：高所で壁繋ぎ金物を無理な姿勢で取り付けようとして、作業員が墜落

施工

浄水場関連

墜落・転落

高所で壁繋ぎ金物を取り付ける作業中、作業員が当日の作業の遅れを取り戻そうと焦り、決められた手順である作業床付き脚立を使用せず、更に墜落制止用器具も使用せず無理な体勢で枠組み足場から身を乗り出した。その結果、バランスを崩し約2.2m下に墜落、右手首を骨折した。

原因

- ・墜落制止用器具を使用しなかった。
- ・作業床付き脚立を使用しなかった。

結果：負傷

- ・右手首骨折

教訓

高所作業では、墜落制止用器具を必ず使用する。
作業に適した足場を使用する。
作業における不安全行動をなくすため、作業員への安全教育を繰り返し行う。
日々の作業手順を確認し、遵守する。

行動

- ・当日の作業ノルマの遅れを取り戻そうと、決められた手順を無視し、無理な姿勢で作業しようとし、墜落した。

約2.2m

壁繋ぎ金物

壁

身を乗り出して左手をつこうとしたが届かず。

墜落

足場

右手首を骨折

